

# 視点 格差社会への懸念

世界での格差拡大

「大富豪8人と下位36億人の資産は同じ」という衝撃的な事実が報じられている。

そして世界での格差はますます広がっている。1988年から2011年にかけて、下位10%の収入はほぼ横ばいなのに、上位1%の収入は182倍になっており、富めるものはますます富み、貧しいものは貧しさから抜け出せないまま格差が広がっているという。

日本での格差の現状は 日本は、かつて「一億総中流社会」と呼ばれた時代があった。

当時の世論調査でも、国民の多数が中流という意識を持っていたとされている。多くの家庭が、贅沢でなくとも毎日食べ物に困ることなく、経済的に差し迫った生活への危機感を持つこともなく暮らしていた。結婚しても共稼ぎをすれば生活力を確保できると考えることができた時代である。1970年代のことであるが、1990年代まではそのような意識があったといわれている。

今は人や物が世界を自由に行き交うようになり、安い商品も得られるようになった。

企業は、世界的な競争にさらされ、不況の中で非正規社員やパートタイマーの雇用を増やし、人手不足もあって外国人労働者を多く雇用するようになった。また、多くの企業が、安く商品を作るため、賃金が安い海外へ生産拠点を移してきた。そして、激しい競争から将来を見通せない中で、利益が出て労働者へ還元することは少なく、内部留保として社内に蓄えるようになった。企業が儲かればその富がガラスからあふれて下へ伝わ

り、やがてすべてのガラスがいつばいになるという「トリクルダウン理論」は結果的に勝ち組と負け組の世の中を拡大させ、格差を広げることとなっている。

今の日本は、「年収300万円時代に突入」しているといわれている。

労働者の4割が年収300万円以下の収入で働き、生活しているという。正社員と非正規社員との待遇の格差から、正社員への登用を促す動きもあるが、現実にはそれほど進んでいないように思われる。先日、非正規教員割合が全教員の7%を占めているという新聞報道があった。正規教員の5〜8割の給与で正規職員とほぼ同じ仕事をしているため処遇改善を働きかけるとしていた。

将来の見通しも保証もない雇用は、個人の見通しもないが、経済的な基盤が確立できないだけに生活に不安が残る。

## 格差社会への懸念と政治の役割

社会全体としての富の蓄積はあっても、格差は想像を超えて広がっている。まじめに働いても家庭を持てるほどの経済力ができないため結婚できない人が増えたり、子供を産んでも生活力がなくことから子育てに苦労することが懸念される。

自由な競争の中で、経済的な課題はしだいに解決されていくという考えもあるという。だが、格差の是正には政治がその役割を果たさなければならぬように思う。

## 議会：主な活動日誌

4月13日	議会運営委員会
14日	総務常任委員会
18日	産業建設常任委員会
19日	教育福祉常任委員会
24日	月例会議、会派代表者会
26日	正副議長・常任委員長懇談会、市政調査会管内研修視察、市政調査会役員会
28日	議会運営委員会
5月1日	教育福祉常任委員会
9日	産業建設常任委員会
10日	総務常任委員会
12日	議会運営委員会、教育福祉常任委員会
15日	第2回臨時会、全員協議会、復興特別委員会幹事会、会派代表者会
17日	産業建設常任委員会意見交換（大船渡商工会議所）
22日	気仙地区議会議員協議会役員会
23日	教育福祉常任委員会意見交換（共生地域創造財団）、月例会議
24日	教育福祉常任委員会意見交換（大船渡市社会福祉協議会）
25日	市政調査会管外研修視察（～26日）
28日	会派視察（改革大船渡）（～30日）
29日	いわて・大船渡港セミナー2017
6月1日	総務常任委員会、会派代表者会
2日	産業建設常任委員会
6日	議会運営委員会、市政調査会役員会
9日	第2回定例会（初日）、復興特別委員会、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟（仮称）設立総会
13日	会派代表者会
14日	第2回定例会（一般質問）
15日	第2回定例会（一般質問）、議会運営委員会、産業建設常任委員会
16日	第2回定例会（一般質問）
20日	第2回定例会（最終日）、教育福祉常任委員会、市政調査会全体会
21日	議会運営委員会
22日	会派代表者会、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
23日	総務常任委員会
26日	全員協議会、総務常任委員会意見交換（大船渡テレワークセンター）、教育福祉常任委員会、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟総会、月例会議
27日	会派視察（光政会）（～29日）
30日	産業建設常任委員会、正副議長・常任委員長懇談会
7月3日	会派代表者会、総務常任委員会
5日	総務常任委員会意見交換（漁業関係の移住者）、産業建設常任委員会行政視察（～7日）
7日	議会運営委員会
10日	気仙地区議会議員協議会役員会
11日	第3回臨時会、全員協議会、月例会議、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
12日	教育福祉常任委員会行政視察（～14日）

## 編集後記

議会基本条例の制定により、議会活動が活発に行われています。第2回定例会では、12名の議員が一般質問を行い、様々な市政課題について、議論が交わされました。また、各常任委員会では、意見交換や現場視察、調査報告書の作成など、市民の多様な意見を市政に反映させていくために調査活動を積極的に行っています。

さらには、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟の設置や市政調査会による研修活動など将来にわたる地域経済の発展に向けた情報収集や視察研修に議員一丸となって取り組んでいます。

今後も開かれた議会を目指し、市民の皆様により身近に感じていただけるような議会広報に努めて参ります。

## 市議会だより 編集委員会

委員長	今野 善信
副委員長	東 堅市
委員	金子 正勝
委員	奥山 行正
委員	田中 英二
委員	千葉 盛
委員	平山 仁



「大船渡市議会だより」は、国等による環境物品等の調達に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙と植物油インキを使用しています。